

一般社団法人 日本生物物理学会
2024 (令和 6) 年度 事業報告
(2024 年 5 月 1 日～2025 年 4 月 30 日)

目次

1. 事業概要

2. 各事業詳細資料

- 2-1. 学術誌・学術図書の発行 (定款第四条第 1 号)
- 2-2. 学術・科学技術に関する研究発表会、講演会、セミナー等の開催 (定款第四条第 2 号)
- 2-3. 人材育成 (定款第四条第 3 号)
- 2-4. 優れた研究業績と技術的実践の奨励と表彰 (定款第四条第 4 号)
- 2-5. 関連学術団体との連携及び協力 (定款第四条第 5 号)
- 2-6. 国際的な研究協力の推進 (定款第四条第 6 号)
- 2-7. 普及啓発活動

3. 付属明細

(付属明細 1) 処務詳細資料

- ・総会・役員会等に関する事項
- ・契約・入札・他に関する事項

(付属明細 2) 会員の異動状況

(付属明細 3) 事務局の現況 (2025 年 4 月 30 日現在)

1. 事業概要

主な活動は

- 1) 学術誌・学術図書 (和文誌・欧文誌) の発行
- 2) 学術・科学技術に関する研究発表会、講演会、セミナー等の開催
- 3) 研究及び調査の推進・人材育成
- 4) 優れた研究業績と技術的実践の奨励と表彰
- 5) 関連学術団体との連携及び協力
- 6) 国際的な研究協力の推進
- 7) 普及啓発活動
- 8) その他

である。以下にそれぞれを概説する。

1) 学術誌・学術図書（和文誌・欧文誌）の発行

和文誌『生物物理』第 64 巻 3 号～6 号、第 65 巻 1 号・2 号を刊行した。

欧文誌 Biophysics and Physicobiology Vol.21、Vol.22 を刊行した。

教科書出版の支援事業を立ち上げ、一件を採択した。

2) 学術・科学技術に関する研究発表会、講演会、セミナー等の開催

2-1) IUPAB2024・第 62 回日本生物物理学会年会（共催）の開催

2024 年 6 月 24 日～28 日、京都国際会議場において、IUPAB2024・第 62 回日本生物物理学会年会を共催にて開催した。参加者総数：1918 名、演題登録状況：一般演題 1351 件（口頭発表 216 件、ポスター発表 1135 件）、シンポジウム：216 件であった。

3) 研究及び調査の推進・人材育成

3-1) 男女共同参画・若手支援シンポジウムの開催

学会年会において、男女共同参画シンポジウム「Beyond Borders:Insight Into International Employment Opportunities」・若手支援シンポジウム「Unveil the Spark: Explore the Decision Moment to become Biophysicists!」を開催した。

3-2) サブグループ支援活動

小中規模のグループ活動やオンラインを含むミーティング開催等を支援することにより学会活動をさらに盛り上げることを目的とし、7 件のサブグループの支援を行った。

4) 優れた研究業績と技術的実践の奨励と表彰

4-1) 学会年会において、若手奨励賞、若手招待講演賞、IUPAB2024 Student and Early Career Researcher Poster Award を授与した。

5) 関連学術団体との連携及び協力

生物科学学会連合定例会議に継続して出席した。

6) 国際的な研究協力の推進

学会のグローバル化を図るため、IUPAB2024 において ABA シンポジウム開催を支援した。

IUPAB2024 の共催に向け、理事会全体で全面的に協力し、開催を成功させた。

7) 普及啓発活動

7-1) Biophysics and Physicobiology の国際情報発信力強化

編集委員会の開催、サイトの整備、海外希望者への TOC 配信など、Biophysics and Physicobiology 活性化のための取組を実施した。

7-2) 小中高を対象としたセミナー講師派遣

2016 年 10 月より、小学・中学・高校生を対象とした講師派遣サポート事業を受け付けたが、2024 年度は講師派遣希望がなかった。

7-3) 学会ウェブサイトの利便性向上
サーバ更新、英語表記の拡充等を行った。

8) その他

8-1) 学会理事会でのウェブ会議の活用

全ての理事会、男女共同参画・若手支援委員会・出版委員会をオンラインで開催した。

2. 各事業詳細資料

2-1. 学術誌・学術図書の発行（定款第四条第 1 号関連）																			
2-1-1. 和文誌「生物物理」	<div>・第 64 巻 3 号～6 号・第 65 巻 1 号・2 号を刊行した。（A4 版・隔月刊）</div> <div>64 巻 3 号 14 記事 60 ページ</div> <div>64 巻 4 号 14 記事 64 ページ</div> <div>64 巻 5 号 14 記事 64 ページ</div> <div>64 巻 6 号 15 記事 65 ページ</div> <div>65 巻 1 号 12 記事 74 ページ</div> <div>65 巻 2 号 10 記事 65 ページ</div> <div>【ダウンロード数（2024 年 5 月～2025 年 4 月）】</div> <table><tr><td></td><td>今期刊行号</td><td>バックナンバー</td><td>総計</td></tr><tr><td>学会 PDF 版</td><td>5018</td><td>1204</td><td>6222</td></tr><tr><td>J-STAGE 版</td><td>10732</td><td>1044949</td><td>1055681</td></tr><tr><td>合計</td><td>15750</td><td>1046153</td><td>1061903</td></tr></table> <div>【冊子体購読数】</div> <div>機関会員：29、購読（書店経由）：38、購読会員：7（内名誉会員 2）</div> <div>上記に加え、賛助会員 4、寄贈会員 5 にも送付した。</div>				今期刊行号	バックナンバー	総計	学会 PDF 版	5018	1204	6222	J-STAGE 版	10732	1044949	1055681	合計	15750	1046153	1061903
	今期刊行号	バックナンバー	総計																
学会 PDF 版	5018	1204	6222																
J-STAGE 版	10732	1044949	1055681																
合計	15750	1046153	1061903																
2-1-2. 欧文誌「Biophysics and Physicobiology」	<div>Vol.21（2024.5-12）</div> <div>Regular Article 7、Review Article 4、Note 1、Editorial 1、</div> <div>Commentary and Perspectives 0、Database and Computer</div> <div>Program 1、Method and Protocol 1、Special Issue 30</div> <div>Vol.22（2025.1-4）</div> <div>Regular Article 7、Review Article 1、Note 0、Editorial 0、</div> <div>Commentary and Perspectives 0、Database and Computer</div> <div>Program 0、Method and Protoco 2l、Special Issue 1</div> <div>【ダウンロード数（2024 年 5 月～2025 年 4 月）】</div> <table><tr><td>今期刊行号</td><td>バックナンバー</td><td>総計</td></tr><tr><td>15518</td><td>58150</td><td>73668</td></tr></table>			今期刊行号	バックナンバー	総計	15518	58150	73668										
今期刊行号	バックナンバー	総計																	
15518	58150	73668																	
2-2. 学術・科学技術に関する研究発表会、講演会、セミナー等の開催（定款第四条第 2 号関連）																			
2-2-1. 年会運営	<div>・以下の年会を開催した。</div> <div>2024 年第 62 回日本生物物理学会年会（IUPAB2024 と共催）</div> <div>年会実行委員長：野地 博行 氏（東大）</div> <div>日時：2024 年 6 月 24 日～28 日</div> <div>場所：京都国際会議場</div> <div>・以下の年会の開催準備を行った。</div> <div>1) 2025 年第 63 回日本生物物理学会年会</div> <div>年会実行委員長：高田 彰二 氏（京大）</div> <div>日時：2025 年 9 月 24 日～26 日</div> <div>場所：奈良県コンベンションセンター</div> <div>2) 2026 年第 64 回日本生物物理学会年会（韓国関係学会と共催）</div> <div>年会実行委員長：朴 三用 氏（横浜市立大）</div> <div>日時：2026 年 11 月 24 日～27 日</div> <div>場所：BEXCO</div> <div>3) 2027 年第 65 回日本生物物理学会年会</div> <div>年会実行委員長：安永 卓生 氏（九州工大）</div>																		

	<p>日時：2027 年秋頃 場所：未定</p>
2-2-3. 各種講演会	36 件の協賛・共催・後援を行った。
2-3. 研究及び調査の推進・人材育成 (定款第四条第 3 号関連)	
2-3-1. 男女共同参画・若手支援活動	<p>・若手支援シンポジウム 以下のシンポジウムを実施した。 「Unveil the Spark: Explore the Decision Moment to become Biophysicists!Unveil the Spark: Explore the Decision Moment to become Biophysicists!」 日時：2024 年 6 月 25 日 12:35～13:35 (第 62 回年会会期中) 場所：RoomC-2</p> <p>・男女共同参画シンポジウム「Beyond Borders:Insight Into International Employment Opportunities」 以下のシンポジウムを実施した。 日時：2024 年 6 月 28 日 12:35～13:35 (第 62 回年会会期中) 場所：RoomA</p> <p>・第 62 回年会において、(株)アカリクから講師を迎え、セミナー等を実施した。</p> <p>・若手の会 2024 夏の学校への資金援助 (50 万円)、IUPAB2024 若手の会前夜祭への資金支援 (35 万 6500 円) を行った。</p>
2-3-2. 男女共同参画学協会連絡会への参画	<p>・男女共同参画学協会連絡会 運営委員会第 22 期第 3 回、第 23 期第 1 回、第 2 回へ出席した (2024 年 8 月 30 日、2024 年 12 月 10 日、2025 年 3 月 25 日)。</p> <p>・第 22 回男女学協会連絡会シンポジウムに参加、ポスター発表を行った。</p>
2-4. 研究業績と技術的実践の奨励と表彰 (定款第四条第 4 号関連)	
2-4-1. 若手奨励賞、若手招待講演賞、学生発表賞の選考、授与	<p>・第 20 回若手奨励賞の選考を行い、第 62 回年会で授賞した。(受賞者 5 名)</p> <p>・第 20 回若手招待講演賞の選考を行い授賞した。(受賞者 4 名)</p>
2-4-2. Biophysics and Physicobiology 論文賞	<p>・第 13 回 Biophysics and Physicobiology 論文賞 5 報の推薦論文について審査した結果、以下の 1 論文を第 13 回 Biophysics and Physicobiology 論文賞とした。授賞は 63 回年会中に行われる予定。</p> <p>Kojima K., Watanabe H.C., Doi S., Miyoshi N., Kato M., Ishikita H., and Sudo Y. Mutational analysis of the conserved carboxylates of anion channelrhodopsin-2 (ACR2) expressed in Escherichia coli and their roles in anion transport Biophysics and Physicobiology, vol.15, pp.179-188 (2018)</p> <p>・第 14 回 Biophysics and Physicobiology 論文賞 5 報の推薦論文について、審査を開始した。</p>
2-4-3. Biophysics and Physicobiology Editors' Choice Award	<p>・以下の 9 報の論文を第 11 回 Editors' Choice Award 受賞論文とした。授賞は 63 回年会中に行われる予定。</p> <p>Removing the parachuting artifact using two-way scanning data in high-speed atomic force microscopy Shintaroh Kubo, Kenichi Umeda, Noriyuki Koderu, Shoji Takada Biophysics and Physicobiology, Volume 20, e200006 (2023)</p>

	<p>Regulation of motor activity of ciliary outer-arm dynein by the light chain 1; Implications from the structure of the light chain bound to the microtubule-binding domain of the heavy chain Toshiki Yagi, Akiyuki Toda, Muneyoshi Ichikawa, Genji Kurisu Biophysics and Physicobiology, Volume 20, e200008 (2023)</p> <p>Recent progress in primitive polyester synthesis and membraneless microdroplet assembly Tony Z. Jia, Kuhan Chandru Biophysics and Physicobiology, Volume 20, e200012 (2023)</p> <p>Molecular mechanisms of the high performance of spider silks revealed through multi-omics analysis Yasuha Watanabe, Kazuharu Arakawa Biophysics and Physicobiology, Volume 20, e200014 (2023)</p> <p>Controlling complex dynamical systems based on the structure of the networks Atsushi Mochizuki Biophysics and Physicobiology, Volume 20, e200019 (2023)</p> <p>Inhibition of amyloid-β(16–22) aggregation by polyphenols using replica permutation with solute tempering molecular dynamics simulation Daiki Fukuhara, Satoru G. Itoh, Hisashi Okumura Biophysics and Physicobiology, Volume 20, e200045 (2023)</p> <p>Residue-based correlation between equilibrium and rate constants is an experimental formulation of the consistency principle for smooth structural changes of proteins Daisuke Kohda, Seiichiro Hayashi, Daisuke Fujinami Biophysics and Physicobiology, Volume 20, e200046 (2023)</p> <p>Binding free-energy landscapes of small molecule binder and non-binder to FMN riboswitch: All-atom molecular dynamics Junichi Higo, Gert-Jan Bekker, Narutoshi Kamiya, Ikuo Fukuda, Yoshifumi Fukunishi Biophysics and Physicobiology, Volume 20, e200047 (2023)</p> <p>Potassium-selective channelrhodopsins Elena G. Govorunova, Oleg A. Sineshchekov, John L. Spudich Biophysics and Physicobiology, Volume 20, e201011 (2023)</p>
2-5. 関連学術団体との連携及び協力（定款第四条第5号関連）	
2-5-1. 生物科学学会連合への参画	・第30回定例会議（2024年12月21日）、第31回定例会議（2025年4月30日）に出席した。
2-5-2. 他学会との連携	・日本物理学会会員、オーストラリア生物物理学会会員、日本顕微鏡学会会員、日本分子生物学会会員の参加発表奨励による連携強化を行った。
2-6. 国際的な研究協力の推進（定款第四条第6号関連）	
2-6-1. IUPAB（国際純粋および応用生物物理学連合）関連	・21st IBC（2024年）の開催準備を行い、共催した。
2-6-2. ABA（アジア生物物理学連合）関連	・第62回日本生物物理学会年会（2024）において、海外とのジョイント・シンポジウムを1件（台湾）開催した。
2-7. 普及啓発活動	
2-7-1. Biophysics and Physico-	・投稿を奨励するため、IUPAB2024にてチラシやポスターで宣伝した。

biology の国際情報発信力強化	また、日本生物物理学会員に加えてインド生物物理学会 (Indian Biophysics Society) の希望する会員に、発刊された論文リストをメールにて隔月に送付した。
2-7-2. 小中高を対象としたセミナー講師派遣	2025 年 4 月 30 日現在の講師登録者数は 39 名。
2-7-4. 物理チャレンジ・国際物理オリンピックへの協力	学会ウェブサイトニュース欄に実施要項を掲載した。
2-7-5. その他国内・国外の啓発イベントへの参加	女子中高生夏の学校 (2024 年 8 月) にて、参加者に学会クリアファイル、学会パンフレットを配布した。男女共同参画・若手支援委員の理事 1 名含む 3 名がイベントに参加し、参加者への説明を行った。

3. 付属明細

(付属明細1) 処務詳細資料

総会・役員会等に関する事項

3-1-1. 総会（開催日）	2024年6月7日（定時社員総会）、2024年12月14日（臨時社員総会）
3-1-2. 会計監査会（開催日）	2024年5月21日
3-1-3. 理事会（開催日）	<p>2024年6月7日、2024年10月12日、2024年12月14日、2025年2月8日、2025年4月26日</p> <p>・上記理事会についてはTV会議システムを活用した。</p> <p>メール審議</p> <p>2024年5月16日 事業報告書・決算報告書ご確認のお願い</p> <p>2024年8月1日 学会員の自由な発想による教科書および専門書籍出版の支援制度</p> <p>2024年11月13日 分生との連携について</p> <p>2025年4月8日 生化学会との連携について</p> <p>2025年4月23日 2026年韓国年会の共同開催の Agreement 案について</p> <p>2025年4月28日 名誉会員および功労会員の推薦について</p> <p>2025年4月30日 日本学術会議法案に関する学会の対応について</p>
3-1-4. 委員会（開催日）	<p>・出版委員会</p> <p>2024年6月7日、2024年10月12日、2024年12月14日、2025年2月8日、2025年4月26日</p> <p>・男女共同参画若手支援委員会</p> <p>2024年6月7日、2024年10月12日、2024年12月14日、2025年2月8日、2025年4月26日</p> <p>（出版委員会、男女共同参画若手支援委員会ともに、TV会議システムを利用し、それぞれの委員でない理事はオブザーバとして委員会に参加した。）</p> <p>・会誌編集委員会</p> <p>2024年7月6日、2024年10月5日、2024年12月23日、2025年4月5日</p> <p>・Biophysics and Physicobiology Editorial Board meeting</p> <p>2024年12月21日</p> <p>・ウェブサイト編集委員会</p> <p>2024年7月4日、2024年9月26日、2024年12月2日、2024年1月15日、2025年4月10日</p> <p>・賞選考委員会（メール審議含む）</p> <p>2024年5月28日 育志賞</p> <p>2024年7月5日 文部科学大臣表彰</p> <p>2024年9月18日 井上学術賞</p> <p>2024年8月30日 小林賞</p> <p>2024年8月30日 木原記念財団学術賞</p> <p>2024年8月30日 内藤記念科学振興賞</p> <p>2024年9月25日 東レ科学技術研究助成</p> <p>2025年12月15日 藤原賞</p> <p>2025年2月28日 山田科学振興財団研究援助</p>

	<p>2025 年 3 月 17 日 江崎玲於奈賞 2025 年 3 月 26 日 日本学術振興会賞</p> <p>上記の各賞に候補者を推薦した。</p> <p>・採択となった賞候補者 第 21 回江崎玲於奈賞 安藤 敏夫氏（2022 年度推薦） 2024 年度島津賞 永井 健治 氏（2023 年度推薦） 第 41 回井上學術賞 南後 絵理子 氏 第 15 回育志賞 高田 咲良 氏 令和 7 年度科学技術分野の文部科学大臣表彰若手科学者賞 小島 慧一 氏</p>
--	---

契約・入札・他に関する事項

- ・主な新規契約に関する事項（なし）
- ・入札に関する事項（なし）
- ・その他の事項（なし）

（付属明細 2）会員の異動状況

会員種別		会員数		増減
		2024 年 4 月 30 日現在	2025 年 4 月 30 日現在	
正 会 員	一般会員	1,831	1746	▲ 85
	学生会員	1,196	1177	▲ 19
	シニア会員	68	65	▲ 3
名誉会員		18	17	▲ 1
終身会員		8	15	7
功労会員		1	1	0
機関会員		30	29	▲ 1
賛助会員		5	5	0
総計		3157	3055	▲ 102

準会員 2024 年 4 月 30 日現在 71

2025 年 4 月 30 日現在 25

今期の新規入会者数

一般会員 49 名

学生会員 171 名

（付属明細 3）事務局の現況（2025 年 4 月 30 日現在）

雇用者なし